

<h1>第 343 回 月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営副委員長 保 科	企画運営委員

◎ 日 時 2022年4月15日（金）13時00分～16時30分

◎ 場 所 リモート開催（Zoom）

◎ 出席者 28名（企業・団体会員14名、個人会員14名）

1. 開会挨拶

13:00～13:05 企画運営副委員長 大西正紀 氏

2. トピックス紹介

13:05～13:15 企画運営委員会

- ・TUV ラインランドジャパンの TAA コースの7月開催
- ・天井クレーンのヒアリハット事例とバルンサーの災害事例
- ・JIS D6802:2022 無人搬送車の新規格の発行
- ・厚生労働省 Youtube の大学・高専向けの安全衛生教育教材
安全衛生を学ぼう(機械設計編)～学生を対象とした安全衛生教育教材～
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWhjuomLR-Am92glX4nQD6o>

3. 中間報告「IMS委員会」

13:15～14:00 IMS委員会 大西正紀 氏

2019年から活動するIMS委員会について、現在までの経過と課題を報告する。
当初の今枝幸博氏に代わり、大西正紀氏が報告する。

意見交換

- ・IMSで適用すべき制御システム、などについて意見交換した。

4. 中間報告「安全確認型研究会」

14:15～15:15 安全確認型研究会 佐藤国仁 氏

2020年から活動する安全確認型研究会について、現在までの経過と課題を報告する。

意見交換

- ・安全・不安・危険から安全・不明・危険への変更、などについて意見交換した。

5. 安全基礎の確認のための講座 — 安全工学基礎講座（第5回）

テーマ「「ポジティブな機械的な結合」はなぜ必要か」

15:25～16:30 企画運営委員 福田隆文 氏

安全工学基礎講座全10回の第5回目は、ポジティブな機械的な結合を安全論理式により機能・作用を説明し、安全確認型システムの理解と実践を深めていく。

意見交換

- ・操作アクチュエータの接点溶着、原理と原則の違い、信頼性のある機械設計、などについて意見交換した。

6. その他

- ・会員からの意見や助言を活用するため、アンケートへの協力をお願いします。
- ・次回 344 回月例会は、5 月 20 日（金）13 時～16 時 30 分にリモートで開催する。

月例会説明資料：会員専用ページに掲載

資料番号	資料名
343-3-1	中間報告「IMS委員会」
343-4-1	中間報告「安全確認型研究会」
343-5-1	安全工学基礎講座（第5回）「ポジティブな機械的な結合はなぜ必要か」

以上